

罐詰用黄肉桃の新品種

黛 乙 郎

New Variety of a Yellow Peach for Canned Fruit

Itsuro Mayuzumi

1. This is a report on an yellow peach (Cling-stone) suitable for canned fruit, which is the second hybrid of an American yellow peach and a Chinese white peach.
2. This new variety has three kinds: T_{1-1} , T_{11-1} , T_{4-1} indicated by crossing number.
3. These three kinds have all cling-stones and yellow meat. They ripen at the beginning or in the middle of July.
4. The new variety of peach ripens a little earlier, so it is somewhat light in color and injured neither by diseases nor insects. It is raised quite early.

は し が き

近年桃罐詰の製造が盛んとなり殊に黄肉種のものが必要が増加の傾向にあり、桃罐詰の輸出が実現することとなった今日栽培者も生食用の水密系の桃のみ栽培しては運営の将来が危ぶまれる状態となって来た。

一方罐詰原料用桃はベルシャ系の桃でないと均一な製品を製造することが出来ないが、ベルシャ系の桃は吾国の気候、風土に適さず栽培が困難とされていたが、最近ベルシャ系の桃と東洋系の水密桃との交配によって吾国の気候風土に適した栽培容易な新品种4種類が農林省試験場にて作出育成され発表された。

これ等の罐詰用品種は何れも吾国で栽培し易い罐詰用黄肉種であるが熟期が稍遅く八月中旬以後に熟するものであると地方により吸収口を持った「アケビノコノハガ」「アカエグリハ」「ヒメエグリハ」等の夜蛾の襲来を受け大きな被害を受ける恐れがあるのと一方製造工場の運営上稼働操作の上にもっと早生種が要求されているので七月上中旬に熟するものを作出せんと品種改良を続けて来た。

1940年(昭和15年)より交配を始めたが戦争のために中断され1949年(昭和24年)再び交配を続け米国产黄肉桃と東洋系の白肉桃の二代雑種中より有望のもの育成に成功したので発表する。

新 品 種

T1-1 (タスカン×早生水密) × (タスカン×早生水密)

1940年にタスカンと早生水密の交配によって一代雑種を得た儘で戦争のために中止していたが1949年にタスカンと早生水密の一代雑種を親として再び交配して二代雑種を得この中より早生系のものの5系統出たものの一つである。

樹 性

直立性で樹勢甚だ強く枝は細く長い。複芽の着生多く花は蓋咲で受精良好。花は3月末日頃より開き4月7日8日頃満開。

果 実

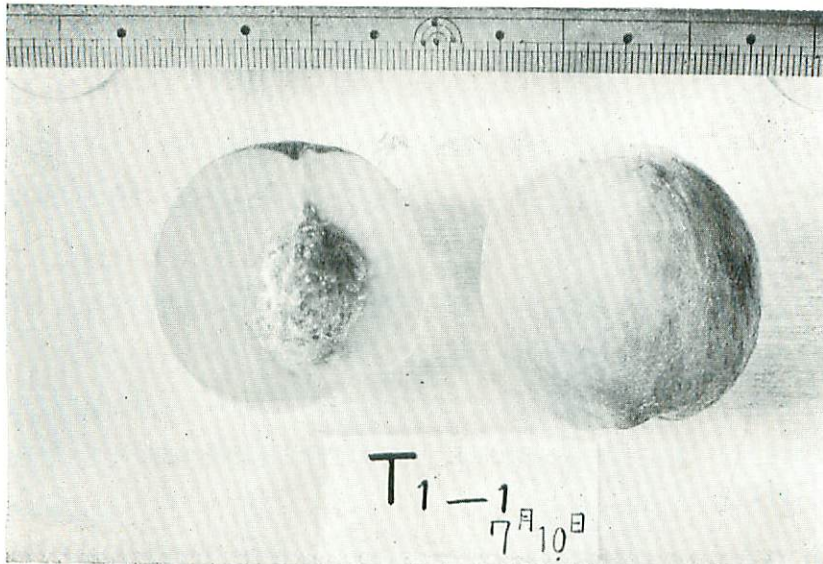
果形円形タスカンに似て稍凸凹があり片肉が多い。果項くぼみ梗窪稍深い

果皮淡橙黄色で果項部は紅斑暈に着色す。果肉は黄色粘核で核周囲には紅色素は出ないが、果肉に僅に赤色が現れる、但し罐詰に製造した際は消える程度のものである。甘味少く酸味稍多い。

p H.....3.76 (平均)

糖度.....10.3 (//)

7月上旬に熟し一果平均 40匁位



T₁₁₋₁ (タスカン×早生水密) × (タスカン×早生水密)

T₁₋₁ と同様にして二代雑種中より得たるもの。

樹 性

直立性で樹勢強く枝は細く長い。複芽を混えた単芽、花は葎咲で受精良好、花は3月末日頃より開き4月7日8日頃満開。

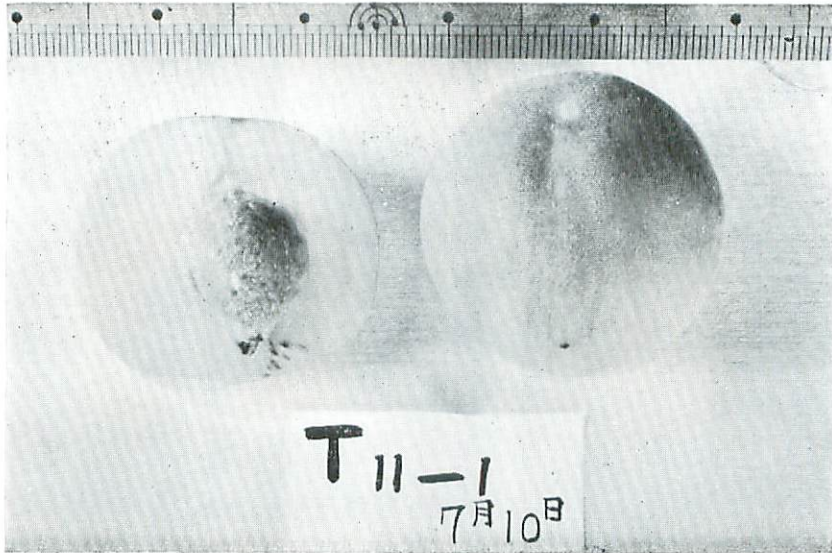
果 実

円形 形よし、果頂部 扁平にてくぼみ無し。果皮 淡橙黄色 僅に果頂部に暈現る。果肉は淡黄粘核で核周囲及果肉内にも全然、紅色素出ない。甘味少く酸味多い。肉質緻密稍軟らかい。

7月上旬熟す、 一果平均 40匁位。

pH.....3.67 (平均)

糖度.....9.8



T 4-1 (タスカン×早生水密) × (タスカン×早生水密)

前二者と同様にして二代雑種中より得たるもの。

樹 性

開張性 花芽の着成頗る多い。複芽多く東洋系の桃に似て短結果枝良く着く、花は普通咲大輪、
花粉多く受精良好、開花期やや遅く満開は4月10日頃

果 実

果形 方円形で形整い良好 果頂部 僅にくぼみ 梗窪やや深い。果皮橙黄色に果頂部及縫合線
に紅色暈と斑条暈あり。果肉は橙黄色 粘核 核周囲に紅色素無し。

果肉内に時に僅に紅色素が現れるが、罐詰に影響は無い。

酸味多く甘味やや多い。7月下旬熟す、一果平均 40匁前後

pH.....3.85 (平均)

糖度.....11.4

